

日本語中的惯用句（二）PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/147/2021_2022__E6_97_A5_E6_9C_AC_E8_AF_AD_E4_c105_147590.htm 生きの目をく：眼疾手快。雁过拔毛。（喻）不可麻痹大意。息が合う：配合默契。步调一致。例：名同士が息が合った演技をせる。名演员们向我们展示了配合默契的演技。息が切れる：半途而废。坚持不下去。例：金のがしく、事の半ばで息が切れる。周转资金的筹措有困难，事业半途而废。行きがけの：顺手牵羊。顺便兼办别的事。例：行きがけのに人ののを失敬してきたとは、あきれた奴だ。竟顺手牵羊偷拿别人的伞，这种人真够呛。息がまる：令人窒息。（因紧张而感到）呼吸困难。憋气。例：事故の理をめぐって、息がまるような会がつづいている。围绕事故的处理问题，令人窒息的会议一直持续着。息切れがする：不能坚持下去。干到半截没劲了。例：いくらやっても一向に目鼻がつかないので、少し息切れがしてきた。干了半天也没摸出个门道来，不觉有些气馁。委曲を尽くす：详尽。详细。息を凝らす：屏住呼吸。憋住气。息をむ：大吃一惊。（感动得）瞬间停止了呼吸。息を吹き返す：缓过气来。复苏。恢复。例：新品が当たって、れかかった会社が息を吹き返した。新产品的成功使眼看就要倒闭的公司恢复了生机。意地がない：没出息。没志气。窝囊。懦弱。例：甘やかされて育ったので、意地がなくて困る。被娇惯得一点出息也没有，真伤脑筋。委わす：不管三七二十一。毫不在乎。照旧。例：いくら反が出ても、委わす自分のやり方でめていく。无论别人怎么反对，

照旧按自己的方式去做。 [color=#FFF8DC]いざ：紧要关头。紧急时刻。一旦急需。一旦有事。 [/color] [color=#336699]意地がい：故意刁难。坏心眼。心术不正。 [/color] 石の上にも三年：功夫不负有心人。功到自然成。滴水穿石。例：石の上にも三年で、どうにか仕事も一人前になってきた。总算功夫不负有心人，终于能够任现在的工作了。石を叩いて渡る：谨小慎微。小心翼翼。缩手缩脚。急がば回れ：欲速则不达。痛くも痒くもない：无关痛痒。满不在乎。无动于衷。例：どんなことを言われようと、身にえのないことだから、こっちは痛くも痒くもない。因为问心无愧，所以不管别人说什么，我都无所谓。痛くもない腹を探られる：无端受到怀疑。无故被怀疑。痛し痒し：左右为难。取舍两难。不知如何是好。例：をめばの痛みは治まるが、胃をすので痛し痒しだ。吃药虽然可以止住伤口的疼痛，但却伤胃，真是左右为难。至れり尽せり：无微不至。十分周到。体贴入微。例：十年ぶりに友の家をれ、至れり尽くせれのもてなしを受けた。拜访了阔别十年之久的老友，受到了十分周到的款待。一期一会：一生只遇一次。千载难逢。一言もない：无话可说。无言可辩。例：すべて私の任で、どんなに倒されても一言もありません。全都是我的责任，无论怎样挨骂都无话可说。一去ってまた一：一波未平，一波又起。一枚看板：1.台柱子。主要人物。主角 2.唯一招牌。一张金字招牌。例：一枚看板の役者が病で出演できないのだから、客の入りのいいのは当然だ。台柱子因病不能演出，自然上座率不高了。直さを一枚看板にしてりむ。把诚信作为营销的金字招牌而闻名。一目置く：甘拜下风。表示敬佩。一文惜し

み百知らず：因小知大。一のわり：完了。一生終了。到此
結束。一心岩をも通す：一心一意。滴水穿石。一寸の虫に
も五分の魂：麻雀虽小，五脏俱全。一石二：一石二鸟。一
举得。一箭双雕。一地にれる：一败涂地。居ても立っても
居られない：坐立不安。坐卧不安。命の：救命恩人。井の
中の蛙：井底之蛙。茨の道：艰苦的道路。芋を洗うよう：
拥挤不堪。摩肩接踵。例：年に一度の祭礼で、神社の境内
は芋を洗うような混だ。一年一度的祭礼，神社内拥挤不堪
，十分混乱。色目を使う：1.暗送秋波。眉目传情。2.讨好
。献媚。献殷勤。色を付ける：（商品）让价。加送赠品。
例：お客さんには多少色を付けてっている。对顾客多少让
点儿价出售。言わぬが花：不说为妙。不必说。例：彼の名
誉を守るために、そのことは言わぬが花だ。为了维护他的
名誉，这件事不说为好。100Test 下载频道开通，各类考试题
目直接下载。详细请访问 www.100test.com